

# 江戸川河口地域における霧発生条件の差異 —東京都江戸川区と千葉県市川市の例—

## Differences in fog generation conditions in the Edogawa estuary -Examples of Edogawa-ku and Ichikawa-shi-

\*鳥居 健太<sup>1</sup>、南里 翔平<sup>1</sup>

\*Kenta Torii<sup>1</sup>, Shohei Nanri<sup>1</sup>

1. 市川学園市川高等学校

1. Ichikawa gakuen Ichikawa senior high school

本研究の目的は、千葉県市川市の霧が東京都江戸川区の霧に比べてわずかに濃くなる理由を説明することである。

初めに、霧の発生する条件を確かめると、それが以下の3条件であることが判明した。

1 水蒸気量が多い。②気温が低い。③標高が高い。（ただし平野部に限る。）

市川市と江戸川区は地理的に連続することから、本研究に関係する条件として条件①を選択した。

次に、水蒸気量に差を与える要因として風に着目した。霧が発生した2020年11月26日午前の関東南部各地の風向を調べると、風の流れにある規則が見出された。つまり、2つの大きな風の流れが確認されたのである。これらの風は市川市や、その東側に隣接する船橋市付近でぶつかる上に、容積絶対湿度と気温が異なることがわかった。

結論として、市川市が霧の発生源であるならば、市川市の霧が江戸川区を含む他地域の霧より相対的に濃くなるのは妥当である。

キーワード：霧、江戸川

Keywords: Fog, Edogawa river